

厚生労働省版
ストレスチェック実施プログラム
バージョンアップマニュアル
Ver.1.3

1. 概要

本マニュアルでは、ストレスチェックを受検するための「受検者回答用アプリ」とストレスチェックの結果を管理する「実施者用管理ツール」のバージョンアップ方法について記載しています。

バージョンアップにあたり、必ず「バージョンアップマニュアル.pdf」（本ファイル）を事前によくお読みください。

2. 設置手順

ストレスチェック実施プログラムのバージョンアップ手順の概要は以下のとおりです。

① ストレスチェック実施プログラムのダウンロード

プログラムをダウンロードしZIPファイル（厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム_バージョンアップ版.zip）を解凍します。（解凍方法については、「厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム」ダウンロードサイトの「zip ファイル解凍の準備」をご確認ください。）



② 受検者回答用アプリのバージョンアップ

「受検者回答用アプリ」フォルダがあるディレクトリ（フォルダ）をコピーし、別名で保存します。その後、「受検者回答用アプリ」フォルダ内にあるファイルをバージョンアップ版のファイルと差し替えます。（「受検者回答用アプリ」バージョンアップの流れ P.5～P.6 参照）



③ 実施者用管理ツールのバージョンアップ

「実施者用管理ツール」フォルダがあるディレクトリ（フォルダ）をコピーし、別名で保存します。その後、「実施者用管理ツール」フォルダ内にあるファイルをバージョンアップ版のファイルと差し替えます。（「実施者用管理ツール」バージョンアップの流れ P.7～P.8 参照）

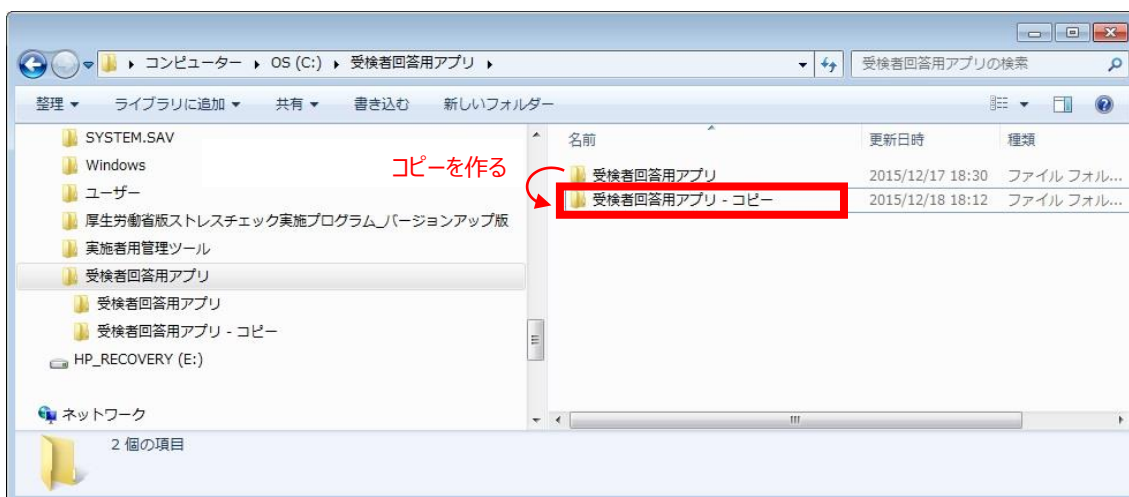


④ 「バージョンアップ最終処理」

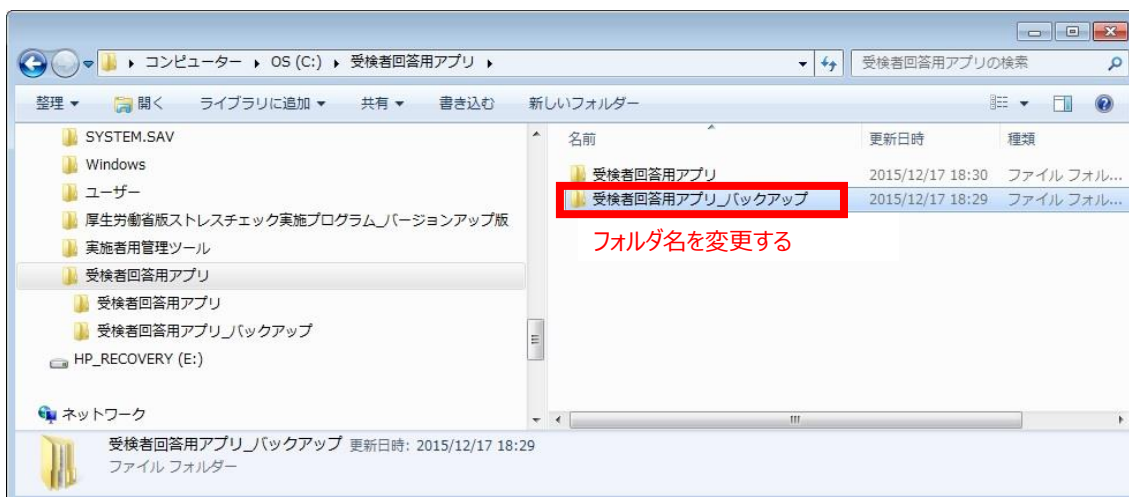
「実施者用管理ツール」にログインし、バージョンアップの最終処理が完了します。また、ログイン後バージョンアップ前のデータと同じであることを確認します。

「受検者回答用アプリ」バージョンアップの流れ

- ① 現在設置されている「受検者回答用アプリ」があるディレクトリ（フォルダ）をコピーして、ディレクトリ（フォルダ）のある場所に貼り付けます。

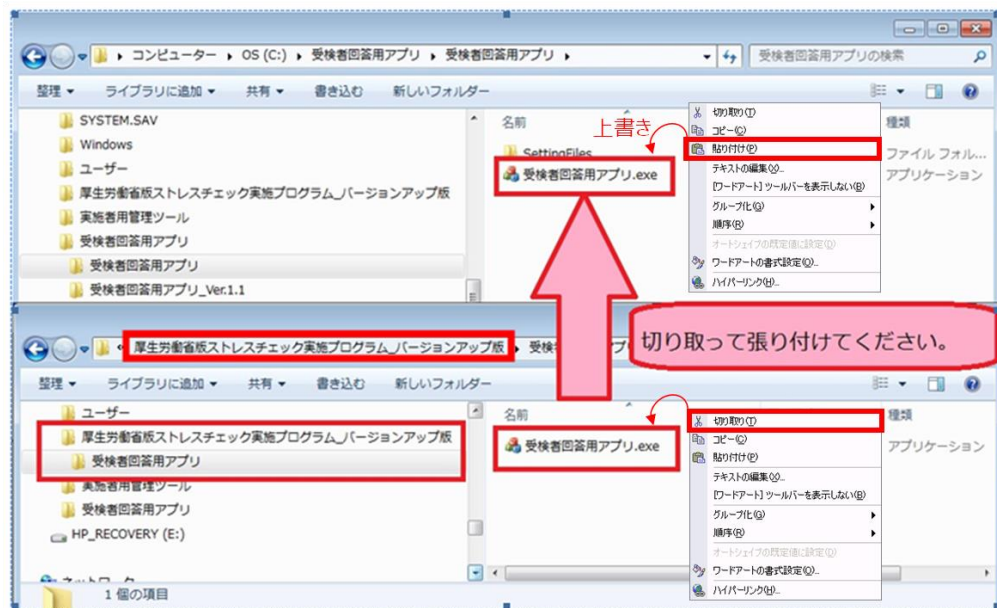


- ② バックアップとして別名で設定します。



- ③ バージョンアップ版の「受検者回答用アプリ.exe」を切り取り、①でコピー元として使用した「受検者回答用アプリ」があるディレクトリ（フォルダ）内に貼り付けてプログラムバージョンアップを実施します。

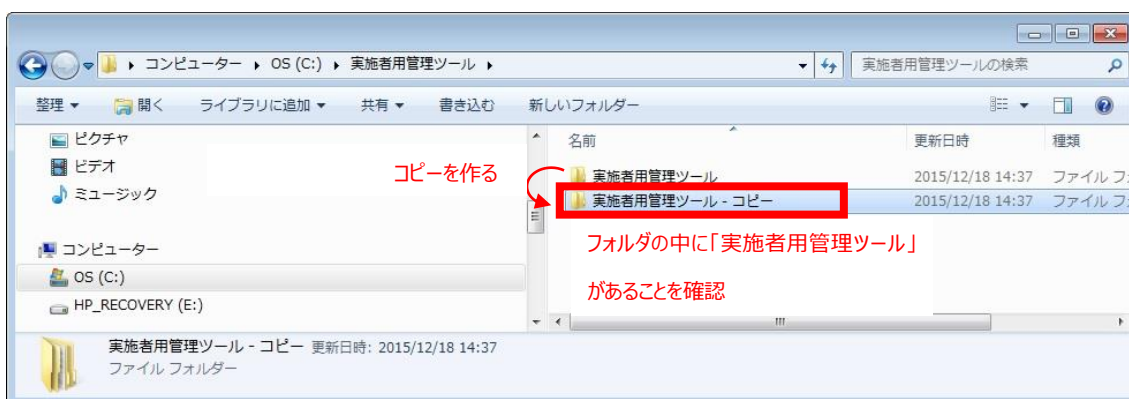
※既にファイルが存在し置き換え（上書き）の確認メッセージが表示された場合にはファイルの置換えを実施してください。



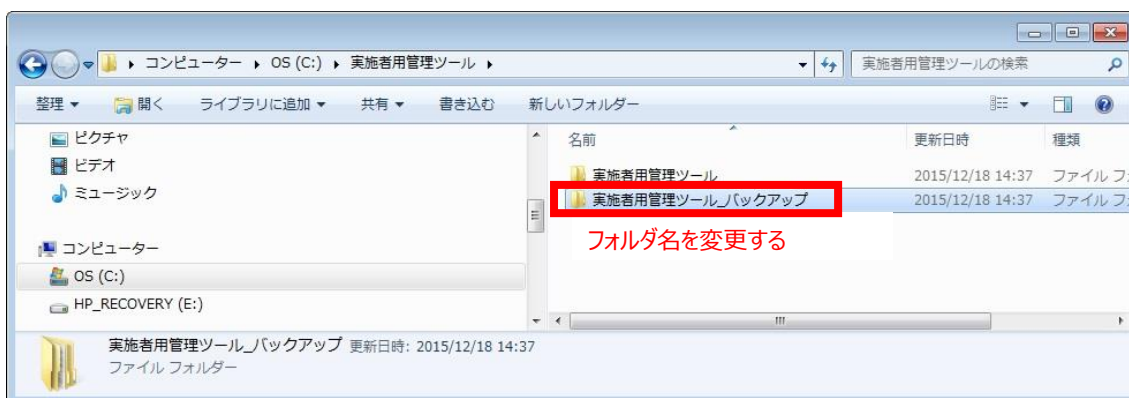
- ④ 上記③の処理完了後、「受検者回答用アプリ.exe」を実行し、受検者回答用アプリのステータスバー（画面上部）に Ver1.3 の表記があることを確認して下さい。続けて実施者用管理ツールのバージョンアップを行いますので受検者回答用アプリは一旦終了させて下さい。

「実施者用管理ツール」バージョンアップの流れ

- ② 現在設置されている「実施者用管理ツール」があるディレクトリ（フォルダ）をコピーして、ディレクトリ（フォルダ）のある場所に貼り付けます。

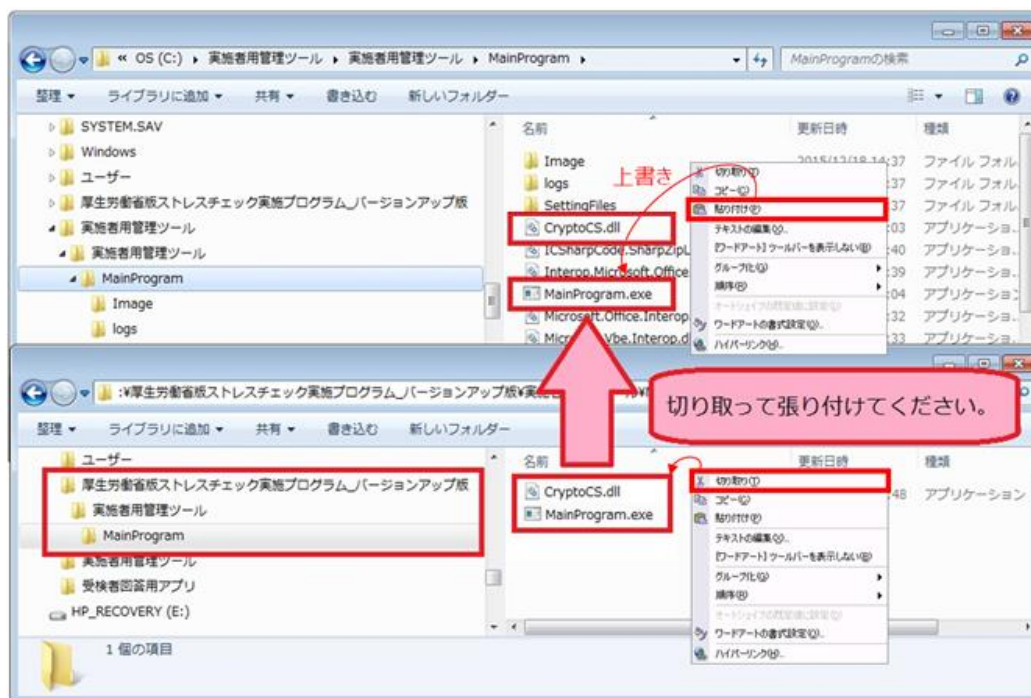


- ③ バックアップとして別名で設定します。



- ④ バージョンアップ版の「MainProgram」フォルダ内にある「MainProgram.exe」と「CryptoCS.dll」の2つのファイルを切り取り、①でコピー元として使用した「実施者用管理ツール」があるディレクトリ（フォルダ）内の「MainProgram」フォルダ内に貼り付けてプログラムバージョンアップを実施します。

※既にファイルが存在し置き換え（上書き）の確認メッセージが表示された場合にはファイルの置き換えを実施してください。



- ⑤ 上記③の処理完了後、「MainProgram.exe」を実行し、実施者用管理ツールのステータスバー（画面上部）に Ver1.3 の表記があることを確認して下さい。
- ⑥ バージョンアップ前のファイルで前もって設定した管理者パスワードでログインしてください。ログインをすることで最終処理が実行され、バージョンアップ完了となり「受検者回答用アプリ」が利用可能となります。

【その他の注意事項】

※厚生労働省版ストレスチェック実施プログラムのフォルダにはプログラムの実行に必要なファイルが含まれています。本ファイルの内容以外の「受検者回答用アプリ」「実施者用管理ツール」フォルダの中身の移動・修正等はストレスチェック実施プログラムが動作しなくなるため行わないでください。

※「受検者回答用アプリ」「実施者用管理ツール」は必ず、同じバージョンで使用してください。同じバージョンを使用していない場合、データが破損するなど想定外の動作をする可能性があるため絶対に行わないでください。

※「ダウンロード時の注意事項」が守られない、または「バージョンアップマニュアル.pdf」(本ファイル)に記載されていないバージョンアップ方法を行うことで生じた不都合について、厚生労働省及び開発依頼元並びに開発元では責任を負いかねます。